

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-134117(P2003-134117A)

【公開日】平成15年5月9日(2003.5.9)

【出願番号】特願2001-323774(P2001-323774)

【国際特許分類第7版】

H 04 L 12/28

H 04 M 1/00

H 04 M 1/253

H 04 M 3/00

【F I】

H 04 L 12/28 200 A

H 04 M 1/00 R

H 04 M 1/253

H 04 M 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月11日(2004.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

図示するように、本実施形態のIP電話機10₁～10₄は、例えばIEEE802.3に基づくLAN30と接続するためのLANインターフェース部101と、ハンドセット等の音声入出力装置や、ダイヤルボタン等を備える操作パネルと接続するための入出力インターフェース部102と、LANインターフェース部101を介してLAN30と送受するパケット(IPパケット)を処理するIP処理部103と、IP処理部103およびLANインターフェース部101を介して、LAN30に接続されたDHCPサーバ20にアクセスし、自身のIPアドレスを入手するDHCP処理部104と、SIP等の呼制御プロトコルを使用して呼制御を行なう呼制御処理部105と、RTPを使用してIP処理部103および入出力インターフェース部102間の通話信号の中継を行なうRTP処理部106と、入出力インターフェース部102を介して操作パネルから操作者の指示を受け付ける指示受付部107と、を有する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

図示するように、本実施形態のコールマネージャ40は、例えばIEEE802.3に基づくLAN30と接続するためのLANインターフェース部401と、LANインターフェース部401を介してLAN30と送受するパケット(IPパケット)を処理するIP処理部402と、IP処理部402およびLANインターフェース部401を介して、SIP等の呼制御プロトコルを使用して、IP電話機10₁～10₄の代わりに、つまりプロキシサーバとして呼制御を行なう呼制御処理部403と、を有する。なお、コールマネージャ40のIPアドレス(ここでは、192.1.18.2)は固定である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0088

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0088】

例えば、上記の各実施形態では、IP電話システムをIEEE802.3に基づくLAN上に構築した場合を例にとり説明したが、本発明のIP電話システムは、その他のWANやインターネット等、様々なネットワーク上に構築することが可能である。